

戦略協議会におけるWGに関連するコメント一覧①

ナノ材WG第4回
資料3

以下の各協議会における共通基盤技術検討WGに関するコメントを、ナノテク・材料WGで要約したもの

- ・ グリーンイノベーション戦略協議会（第3回 2012/7/2; 第4回 7/20）
- ・ 復興再生戦略協議会（第3回 7/4）
- ・ ライフイノベーション戦略協議会（第3回 7/5）

● 戦略協議会とWGの連携について

グリーンイノベーション戦略協議会

- ・ 個々の技術領域をアプリ、システム等につなぐインターフェースの技術が重要になる。
- ・ ワーキンググループから出ていた内容を精査しながら、協議会で「日本の成長戦略はこういう方向であるべきだ」という内容を最重点、重点に分けて検討すべき。
- ・ WGでは、すべての技術を挙げているようだ。優先順位の議論があれば、それを協議会で聞いて、ある程度の判断ができる。

ライフイノベーション戦略協議会

- ・ ナノテクノロジーや材料技術は、スペシフィックな話題になる。シーズ提供側であるWGと、ニーズを語る側である協議会の接点がうまく生じるだろうかという危惧がある。
- ・ 協議会としては、技術ポテンシャルマップに記載の技術を、医療、医学、ライフサイエンスなどに流用、活用する可能性の視点で、議論をしていったらどうか。
- ・ 戦略協議会では、世の中にはこれだけ問題がありますという議論をし、その問題を解決するためのメソッドについて、ICTやナノテクのWGで議論するというアプローチか。
- ・ 戦略協議会と技術シーズをやっているWGがもう少し深い接点を持たないと、ニーズとシーズの接点で、今後の解決へ向けてのシナリオが具体的には書けないのではないか。

(WG側からの提案)

- ・ アプリ、システムについては、各戦略協議会から重点、方向性を出してもらい、マッチングのとれた技術を、WGで具体的に検討する。

戦略協議会におけるWGに関連するコメント一覧②

● WGの活動、成果物について

グリーンイノベーション戦略協議会

- ・ ICTとナノテク・材料で整理の仕方、フォーマットを統一できないか。
- ・ 以下の2種類の“共通基盤技術”が混同されている。整理する必要がある。
 - ICTやナノテク・材料の将来発展のための共通基盤技術
 - グリーンイノベーションやライフイノベーションにとって基盤となる技術
- ・ すべての技術が俯瞰されているようだ。グリーンイノベーションのためのナノテクはどうあるべきかという議論をWGでしてもらいたい。
- ・ 社会への実装については余り出ていない（報告書等に記載されていない）。
- ・ 建設分野、農林水産業の分野の材料に関しては必ずしも記述が多くなかった。実際の現場では、材料に関してかなり期待しているところが多い。

復興・再生戦略協議会

- ・ 技術から開発したもののプロダクタイズしてマーケティングして、それを経営の段階で勝ち続けるための方法論をどこかに書いておくとさらに良い。
- ・ 協議会からのニーズ、重点的取組と共通基盤技術のマッチングに関して、マトリクスを作ったら良い。
- ・ （上記のマトリクスに関して）ICTとナノテクでフォーマットを標準化したら、あとの議論が効率的に行く。

戦略協議会におけるWGに関連するコメント一覧③

● 予算編成作業との関連について（総科技議員からのコメント）

- ・今年、やや例外的に戦略協議会と共通基盤検討WGがそれぞれ検討している。今後、再来年の予算に向けては課題について深掘りの議論をして、更に中身のあるものを作っていく。
- ・各戦略協議会は、時間的な制限から、今年度は、来年度予算編成のアクションプランに何を立てるべきかという議論に集中している。本来、戦略協議会はもっと幅広いミッションを持っている。協議会とWGの連携、ニーズとシーズのマッチング等は、引き続き検討していただくといい。